

庁舎建設に関する調査特別委員会
中間報告書

平成28年12月

庁舎建設に関する調査特別委員会

目次

1. はじめに	・・・・・・・・・・・・・・・・	- 1 -
2. 委員会の活動経過	・・・・・・・・・・・・・・・・	- 2 -
3. 報告	・・・・・・・・・・・・・・・・	- 3 -
1) 新庁舎の位置	・・・・・・・・・・・・・・・・	- 3 -
2) 新庁舎の機能	・・・・・・・・・・・・・・・・	- 4 -
3) 新庁舎の規模	・・・・・・・・・・・・・・・・	- 4 -
4. おわりに	・・・・・・・・・・・・・・・・	- 5 -
資料 活動状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	- 7 -

1. はじめに

新庁舎建設の合併時の協議は「新市において検討するものとする」とし、新市建設計画では後期5年で建設するとしていた。

しかし、国の合併特例債期間期限内の10年で当初協議の建設には至らなかった。

国の特例債期間の延長に伴い平成37年まで（被災地特例）活用できるようになり、平成26年4月に「新庁舎検討委員会」の議論を経て、平成27年1月に「新庁舎建設基本構想」を提示し、同年2月から「市民会議」で10回の会議の成果として、平成27年8月に「新しいまちづくりのための新しい庁舎のあり方」「合併特例債活用の有利性の理解」など提言書が提出された。

一方、議会としての対応は、平成27年3月に庁舎建設の是非を含めた建設のあり方について「庁舎建設に関する調査特別委員会」を設置すると同時に、詳細を調査する機関として「小委員会」を（各会派を代表する9名で）構成し、これまで全体会を11回、小委員会を21回開催し議論を重ねてきた。

まだまだ議論の途中であるが、これまでの意見を集約するためここに中間報告をする。

2. 委員会の活動経過

庁舎建設に関する調査特別委員会は、平成27年3月に新庁舎建設の是非を含めて調査を行う目的で設置された。

調査は、市長部局から庁舎の建設時期、新庁舎建設市民会議の内容及びその主な意見・提言、長寿命化、増改築、新築の検討、財源検討、将来負担比較、新庁舎建設の基本理念・基本方針について説明を受け質疑を行い実施した。

小委員会は詳細な調査を行い、その結果を全体の意思にするために全体に提案し、全員で構成する庁舎建設に関する調査特別委員会とも並行して調査を行った。

さらに、技術的な助言を受け、かつ本市の第二次総合計画審議会会長をされ、都市計画・都市交通を専門とする宮城大学徳永幸之教授を参考人として招き、国土交通省で示している国土のグランドデザイン方針であるコンパクトな拠点とネットワークの構築について調査した。

また、先進事例を調査するため、埼玉県熊谷市（耐震補強で分庁方式）、栃木県下野市（本庁方式で新築）、埼玉県北本市（本庁舎に市民プラザ併設）、山梨県南アルプス市（新築と増改築について住民投票）のそれぞれの庁舎について、建設に関する課題の視察を行っ

た。

特に、庁舎の位置、機能、規模については小委員会で重点的に調査を進めた。

3. 報告

1) 新庁舎の位置

新庁舎建設市民会議の提言では、庁舎建設の場所のテーマとして「現在（いま）そして未来へ」として①建設コストを抑えられる場所、②利便性、③現在の市街地を中心とする要素が挙げられた。

市長部局からの説明は、A 案・迫庁舎敷地、B 案・南方庁舎敷地、C 案・中田庁舎敷地、D 案・県北高速幹線道路（仮称）佐沼 IC 付近の候補地が示され、調査の過程で A 案と D 案について議論がなされている。

A 案の現在の位置がベストであると説明を受けているが、駐車場をはじめとするスペースの問題等が指摘されており、D 案についても交通アクセスの問題等に不安がある。

委員会では、A 案とともに、コンパクトな拠点、まちづくりのランドデザイン（将来像）について、中心拠点と地域拠点を機能的に結び付け、合併によって拡大した地域の生活、都市活動の

利便性の向上を図り、放射・環状ネットワーク形成の観点から、D案についても、今後さらに調査が必要であると確認された。

2) 新庁舎の機能

市民会議の提言では、新庁舎の機能のテーマとして「安心・安全・思いやりのある登米市らしさ」として①思いやりのある建物、②登米市らしさ、③対応力向上プログラム、④防災機能の充実の要素が挙げられた。

市長部局からは、市民の利用を想定した図書館等との複合案などが示された。

委員会では、図書館を除くコンパクトな行政機能を目指す意見や複合案が望ましいとする考え方があり、今後更なる調査が必要であると確認された。

3) 新庁舎の規模

市民会議の提言では、新庁舎の規模のテーマとして「職員と市民が一体となって登米市らしさをかもしだせる人に優しい庁舎」として①効率的な設備インフラ、②市民と職員のパフォーマンス向上、③市民交流が盛んになる施設、④人に優しい登米市らしさPRの要

素が挙げられた。

市長部局からは、総務省及び国土交通省の面積算定基準による必要面積に、市民活動や市民交流の活動拠点機能などの付加施設を加えていると示された。

委員会では、必要な機能を満たす最小限度の規模とすべきであるという意見が出ている。

4. おわりに

今後も、本市の活性化が図られ、各種の計画と整合のとれた新庁舎建設となるよう、将来の組織体制の見通しについても調査する必要がある。

調査の中では、そもそも新庁舎建設ではなく、現庁舎の長寿命化をはかり分庁舎方式を維持すべきとする意見や、次世代に財政負担を強いらせないために、新庁舎の建設を推進すべきであるという意見が出ている。

新庁舎の建設は、その財源として合併特例債を有効に活用できる期間に整備することが必要な条件であるが、本事業が単なる建設事業にとどまらず、まちづくり、行政サービスのあり方など全体に及ぶ課題を抱えていることから議論は複雑多岐である。

市民の理解を得るためには、その将来像、全体像を早期に示すよう働きかけ、市民の目線に立ち、心配、不安に向き合い、より開かれた庁舎建設となるよう、具体的な整備の内容について論議を継続し、引き続き庁舎建設に関する調査を行うことを確認している。

(活動状況)

庁舎建設に関する調査特別委員会の活動状況

全体会 小委員会

会議等	年月日	調査内容	備考
全体1 小1	H27.3.10	正副委員長の互選 小委員会の設置 小委員会正副委員長の互選	・正副委員長の互選を行い、委員長に庄子喜一議員、副委員長に田口政信議員がそれぞれ就任
全体2 小2	H27.3.27	委員長の辞任許可 委員長の互選 小委員の辞任 小委員会委員長の互選	・庄子委員長の辞任許可及び委員長の互選を行い、委員長に浅田修議員が就任
小3	H27.4.13	庁舎建設に関する全体スケジュールについて	・庁舎建設に関する全体スケジュールについて協議し、小委員会を中心に調査活動を進め、必要に応じ全体会を行うことを決定
全体3	H27.4.23	庁舎建設に関する全体スケジュールについて	・市長部局からの情報を受ける場合や全員で情報を共有する必要がある場合は全体の委員会を行い、小委員会は効率的に詳細な調査、掘り下げた調査を行うこととして、全体の委員会につなげていくことを確認
小4	H27.6.8	庁舎建設市民会議の進捗について 小委員会の進め方について 視察研修先について	・庁舎建設市民会議の進捗等について説明を受け、質疑を行い、小委員会の進め方、行政視察について協議
小5	H27.6.26	視察研修について 登米市新庁舎建設検討資料について	・行政視察について協議し、埼玉県熊谷市と栃木県下野市を訪問することを決定した。また、今後の進め方について委員の意見を交換した。現時点で考えている位置、支所のあり方について市長部局に資料を要求しながら、検討をしていくことを確認
全体4	H27.8.24	庁舎建設の基本理念・基本方針について	・新庁舎建設に関する提言 ・新庁舎建設市民会議会議録 ・新庁舎建設検討資料 ・長寿命化・増改築・新築の全体事業費と将来負担比較について説明を受け、全体で審議
小6	H27.10.23	登米市新庁舎建設検討状況について	・新庁舎建設検討状況について、市長部局から説明を受け意見交換を行った。全体の委員にも説明を受けた資料を配布
	H27.10.27 H27.10.28	・熊谷市視察 ・下野市視察	・先進事例を調査するため視察
小7	H27.12.15	新庁舎建設について	・新庁舎建設検討状況について、市長部局から説明を受け意見交換を行い、市民との意見交換会での意見の取扱いについて協議
全体5	H27.12.24	新庁舎建設検討状況について	・10月23日の小委員会の内容について全体で審議
小8	H28.1.22	新庁舎建設について	・新庁舎建設について、官公署等の更新状況の資料説明を受け質疑、意見交換を行った。また、会派での検討内容について意見交換
小9	H28.2.12	現地調査 会派ごとの意見	・建設検討中の4つの候補地について委員会で現地を調査した。また、会派ごとの意見、考えについて意見交換
小10	H28.2.29	依頼資料の検討	・現段階における「これからの総合支所のあり方についての考え方、市民活動支援機能、図書館機能、都市計画道路、スケジュールについて説明を受け、質疑、意見交換
小11	H28.3.14	参考人招致	・参考人として宮城大学徳永教授を招致し、意見聴取

会議等	年月日	調査内容	備考
小 12	H28.6.14	庁舎建設について	・新庁舎建設推進に係る庁内体制の強化、登米市新庁舎建設基本計画「骨子」(素案)、課題等の整理について説明を受け、質疑、意見交換
全体6 小 13	H28.6.30	委員長の辞任許可 委員長の互選 副委員長の互選 小委員の辞任 小委員長の互選 小副委員長の互選	・浅田委員長の辞任許可及び委員長の互選を行い、委員長に田口政信議員が就任、これにより、副委員長欠員による副委員長の互選を行い、副委員長に伊藤栄議員が就任
小 14	H28.7.15	小委員会の進め方について	・小委員会の進め方について協議し、小委員会の検討状況を全体の会に中間報告する方向性が確認された。また、行政視察について協議し、10月4日、5日に埼玉県北本市と山梨県南アルプス市を視察訪問することを決定
全体7 小 15	H28.7.29	新庁舎建設検討状況について	・庁舎建設基本計画「骨子」(案)・財源等・駐車場・総合支所の在り方・組織体制・将来の職員数の見通しについて市長部局から説明を受け、全体で審議
小 16	H28.8.22	登米市新庁舎建設について	・小委員会に追加の資料提出があり、説明を受け質疑
全体8	H28.9.8	登米市新庁舎建設基本計画策定基礎調査事業について	・全体で説明を受け質疑
全体9	H28.9.20	新庁舎建設検討状況について	・布施市長への質疑
小 17	H28.9.30	・意見交換会の意見内容について ・小委員会の今後の進め方について ・行政視察の日程確認について ・その他	・庁舎建設に関する調査特別委員会に寄せられた、意見交換会の意見に対する回答について協議 ・小委員会の今後の進め方について協議 ・行政視察の詳細日程を確認
	H28.10.4 H28.10.5	・北本市視察 ・南アルプス市視察	・先進事例を調査するため視察
小 18	H28.10.21	登米市新庁舎建設について ・新庁舎の駐車場整備計画について(総務部) ・D案周辺の道路整備計画について(建設部) ・図書館構想の現状について(教育委員会) ・その他	・関係部から計画、構想についての説明を直接受け、質疑
小 19	H28.11.18	登米市新庁舎建設について ・委員会調査報告の構成について ・その他	・中間報告に向けて、委員会調査報告の構成について協議
小 20	H28.11.30	登米市新庁舎建設について ・小委員会中間報告書について ・その他	・中間報告書について協議
全体10	H28.12.5	・委員会中間報告書について	・委員会の中間報告について協議
小 21	H28.12.12	・中間報告書について	・中間報告書について協議
全体11	H28.12.13	・中間報告書について	・中間報告書について協議